

スポーツボランティア
プログラム
東京都障害者スポーツ大会
「スポーツの集い」
2017/9/13



など、非常に多くの方が関わっている大規模な大会であり、会場は熱気に包まれていました。

活動内容

本学の学生は、編成誘導係として、召集場所での選手の整列や、プラカードを持って、競技待機場所までの誘導を担当しました。

障がいのある方とふれあうことが初めての学生も多かった中、役割をこなすだけでなく、笑顔で声かけを行い、コミュニケーションをとったり、応援をしたりして、積極的に大会を盛り上げようとしていました。

参加した学生の声

- 召集中に話しかけてくれる方や、競技を楽しみにしておられる声を聞くことができ、自分もこの大会に関わることができて良かったと思った。
- 今まで障がいのある方と身近に接する機会はほとんどなく、接し方が分からないため、正直少し怖いと感じていた。しかし、実際に選手の方と話してみても、言葉が伝わらないことはあるも

のの、一人ひとり本当に輝いていて、元気ももらった。

- 選手の方々が本当にエネルギッシュに楽しそうに競技しておられる姿が印象的でした。
- 障がいのある方々とその方々を日々支える方々の多様なあり方を見ることができて良かった。
- 最初は、どのような動きをしたらよいのか分からず立ち尽くしてしまうことが多かったが、2年目のサポーターの先輩方が自分たちに役割を振ってくださったり、積極的に動いておられる姿を見て、学ぶことができた。
- 今回は自分の役割を果たすことで精一杯だったが、今後は選手がどう楽しんでいるかなども注目し、大会を盛り上げていきたい。

今回の活動を通して、戸惑いながらも障がいのある方への理解や接し方を学び、障がい者スポーツや、それを支えるボランティアへの関心が高まったようです。



プラカードを持って誘導している様子

9月13日（水）、東京体育館にて、「東京都障害者スポーツ大会」の重度知的障がい者の競技会「スポーツの集い」が開催され、本学の学生12人が運営ボランティアとして参加しました。選手はもちろん、そのご家族や施設の方、応援に来た方、吹奏楽部やパフォーマンスをする方

